

# 地理学会ニュース 2020年度 第3号

法政大学地理学会 2020年12月14日発行

## 2021～2022年度評議員選挙投票のお願い

本ニュースに同封されている投票用紙と投票用封筒にて、**2021年1月19日(火)【必着】**までに投票をお願いいたします。投票の方法の詳細につきましては、投票用紙の注意事項をお読み下さい。評議員選挙の選挙権および被選挙権は、一般会員(2020年6月30日までに入会)のみ有します。選挙権のない会員(名誉会員、今年度退会予定者、2020年7月1日以降入会者、学生会員)には、投票用紙および投票用封筒を同封しておりません。

(選挙管理委員長 羽佐田紘大)

## 2020年度第1回例会(会長講演ならびに一般研究発表)の開催報告

本年度第1回例会は2020年11月28日(土)13時～17時に開催され、下記の会長講演ならびに一般研究発表が行われました(参加者58名)。昨今のコロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、今回の例会はZoomを用いたオンライン形式で実施しました。なお、例年、会長講演(および特別講演)は4月もしくは5月開催の定期総会時に行われますが、今年度はコロナ禍によって同総会がウェブ開催となり実施することができなかつたため、今回の例会で執り行うことになりました。同様に、一般研究発表についても2020年2月開催の法政大学地理学術大会で実施する予定でしたが、同大会が中止となったため、その際にエントリーしていた一般研究発表ならびに優秀卒業論文発表の中から、希望者に発表してもらうことになりました。

### <会長講演>

細田 浩：地理学におけるスケール性と地域生態系の概念

### <一般研究発表>(発表順)

松本昭大：伊豆諸島における島霧発生条件の気候学的推定

加藤美雄・塩谷恭正：近年の日本上空における水蒸気量の経年変化

高梨智代：横浜市中区伊勢佐木モール1・2丁目における中心商店街の構造変化

横山数馬：タイ国境地域におけるカンボジア人出稼ぎ労働者の就業と生活の実態

齋藤 圭：河川・地下水の流入負荷を考慮した塩湖の物質収支

猪狩彬寛：草津白根山周辺水環境の水質形成要因



細田会長によるオンライン形式での講演の様子

会長講演では、地理学における空間概念や、境界およびスケールの意味といった細田氏の関心事項や問題意識・概念について、流域生態系の調査や国際科学技術博覧会(1985年)のコンペティションに参加された際の作品など実例を通じて読み解かれていきました(写真)。抽象的な概念と具体的な実例とが折り重なる内容であり、文学や哲学も登場するなど、細田氏の幅広い関心領域や自然科学・人文科学を問わ

ない豊富な知識量を示す講演でありました。なお、細田会長の講演の記録は『法政地理』第53号に掲載されるので、是非お読みいただきたいと思ひます。

一般研究発表では、気候分野2報告、水文分野2報告、人文分野（経済地理）2報告の計6報告がなされました。それぞれ丹念な調査に基づく精緻な分析がなされた内容であり、具体的な考察結果が示されていたことから、各発表において活発な質疑応答が交わされました。

冒頭で記したように、今回の例会は対面形式で行うことができないため、オンライン形式で実施することになりました。運営側としても初めての経験であり、不慣れな面があったため、若干の不手際はあったかと思ひますが、何とか無事に開催することができたかと思ひます。実際にオンライン形式で開催した印象として、発表者以外の参加者の画面ならびに音声をオフにしていたため、臨場感がなかった点でやり難さを感じました。発表者は参加者の反応を伺うことができず、一方、参加者は質問のタイミングを掴めず、それぞれ難しさを感じていたかと思ひます。また、休憩時間等において、発表者と参加者あるいは参加者間でディスカッションの延長戦を行うことができなかったのも、通常の対面形式での例会や大会とは異なり、オンライン形式によるデメリットが表れていたかと思ひます。

しかし、東京遠方の居住者も参加可能な点や直前・直後に予定があっても参加できる点、複数の異なる資料を提示し易い点、録音や録画ができる点などオンライン形式ならではのメリットがあったことも事実です。実際、今回の例会の参加者は58名と多く、東京遠方からの参加者も散見されました。

次年度の例会や定期総会は可能なかぎり対面形式で実施したいと思ひていますが、状況によっては今回の例会と同様にオンライン形式でも実施する（できる）と考えています。また、オンライン形式のメリットを考慮すると、対面形式の例会や定期総会であっても、オンライン形式との併用も視野に入れていきたいと考えています。ただ、やはり、例会や定期総会の後では延長戦（懇親会）を行いたいというのが多くの方（というよりも集会委員）の本音ではな

いかと思ひます。

## 2020年度第2回例会（巡検）の中止について

前号の学会ニュースにて、例会（巡検）の実施を2021年2月あるいは3月に再延期するとともに、最終的な実施の可否の判断を今号にて案内するとお知らせしておりました。

コロナウイルスの感染状況やそれに対する政策的対応、社会的動向を基に、集会委員会ならびに常任委員会で慎重に判断した結果、「第三波」が到来し、日々感染者数が増加している状況下であり、また、冬季にかけてさらに感染の拡大が見込まれることから、巡検の実施は困難であるとの結論に至りました。したがって、誠に残念ではありますが、今年度の第2回例会（巡検）は中止いたします。

今年度の巡検は集会委員ではない会員が企画・案内を行う内容でしたので、これまでの集会委員会主導の内容とは異なる「新鮮な」巡検になる予定でした。実施に向けて準備を進めてくれていた案内人諸氏には感謝するとともにお詫びいたします。また、巡検への参加を楽しみにされていた会員の皆様にもお詫びいたします。

次年度における巡検については現時点では未定ですが、今年度実施できなかった巡検の企画を中心に準備を進めていきたいと考えています。また、今後も巡検の企画を会員諸氏から広く募っていきますので、アイデアがありましたら、是非とも集会委員までご連絡ください。よろしくお願ひします。

## 法政大学地理学術大会の終了について

既に総会にて承認されたように、地理学科の卒業論文発表大会の実施時期ならびに実施方法の変更に伴い、2011年度から地理学科との共催で実施してきた法政大学地理学術大会（以降、地理学術大会と表記）を、2020年度以降は開催しないことになりました。したがって、例年、第3号の学会ニュースにて大会の概要ならびに一般研究発表受付の告知を行っていましたが、本号ではそれらの記事はありません。

地理学術大会は学生会員である4年生の卒業



論文に関する発表を聴ける機会であるとともに、一般会員の発表の機会でもありました。地理学術大会の終了に伴い、一般会員の発表の機会が失われることになると危惧される方もおられるかと思いますが、一般研究発表は総会の開催に合わせて実施することになります。

これまでと同様に、自然地理学や人文地理学の学術研究だけでなく、地理教育の内容やその他地理学に関連する報告・紹介も一般研究発表にて行うことができますので、奮ってエントリーしてもらえたいことを期待します。会員による一般研究発表や『法政地理』での報告は学会活動の柱の一つです。しかし、近年、どちらも大学院生（一般会員）による報告が中心であり、大学院生以外の一般会員による活動は非常に少なく、憂慮すべき状況にあるかと考えます。このような状況は当学会の存在意義に関わる問題であるので、会員諸氏には例会や定期総会に参加するだけでなく、積極的に能動的な関わり・活動をお願いしたいと思います。

(集会委員会)

## 会計委員会より

会費を滞納されている方にお知らせ致します。本会は2年以上滞納されたら納付の督促を行い、3年以上滞納されたら会誌等の発送を停止しております。また滞納期間が5年に達しますと、自動的に除籍する対応を取っております。会員各位におかれましては、住所変更等で学会からの連絡が届かず、結果として会費滞納状態になっている方もいらっしゃると思います。住所変更等がありましたら、かならず学会にお知らせいただきますようお願い致します。またメールアドレスの登録を推進しております。学会ホームページより学会メールを利用してお知らせください。

<<会員動向>>

(2020.9.26～12.4の会員動向です。)

新規入退会はありません。

## 法政大学地理学会創立70周年記念行事関連

### 1. 記念論文集

(1) 編集委員会 (10/25)

(2) 入稿・校正状況 (12/6時点)

初校：1本、2校：20本、校了：5本

(3) 今後の予定

・2020.12～2021.1月 校正(3回)、念校、最終校正

・2021.2月下旬 法政大学地理学会創立70周年記念論文集 発刊

・2021.2月下旬～ 会員・学生・献本等の発送作業

## 2. 地理学研究奨励金

法政地理53号に掲載される報文の執筆者に、審査により「地理学研究奨励金」を授与します。

来年度(2021年)は、3月法政地理53号発行、6月末までに申し込みを締め切り、その後審査して11月末までに決定して常任委員会へ報告、再来年(2022年)の総会で授与する予定です。

なお、執筆者が氏名、連絡先、卒業・修了年度などを明記の上、下記担当に応募することが必要です。

担当：法政大学地理学会副会長 大塚一雄  
問合せ先：kotsuka415@gmail.com

<<学会ニュース原稿の募集>>

法政大学地理学会ニュースに掲載する原稿を広く会員の皆様から募集しております。原稿のご相談は、下記の連絡先までお願いいたします。

連絡先：庶務委員会(shomu@chiri.info)

(庶務委員会 山口隆子)

2020年12月14日発行

編集 法政大学地理学会庶務委員会

発行 法政大学地理学会常任委員会

〒102-8160

東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学文学部地理学教室内

Fax. 03-3264-9459

E-mail hoseichiri@chiri.info

Web <http://www.chiri.info/index.html>

郵便振替 00170-9-167442